

鳴虫山・ヤキバ沢 2016/05/08

メンバー：落合（CL・記録），飯野（SL），大曾根，荒井

天候：快晴

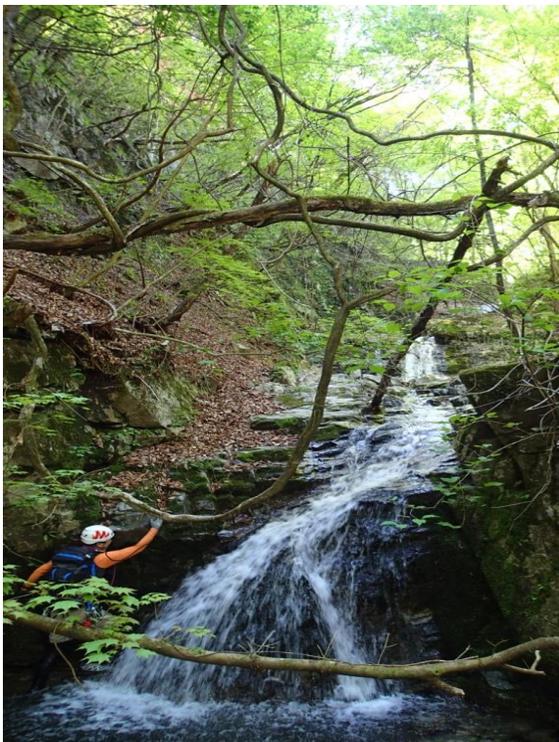
憾満ヶ淵 8：30 入溪 9：00 合峰 11：40 鳴虫山 12：00 憾満ヶ淵 14：30

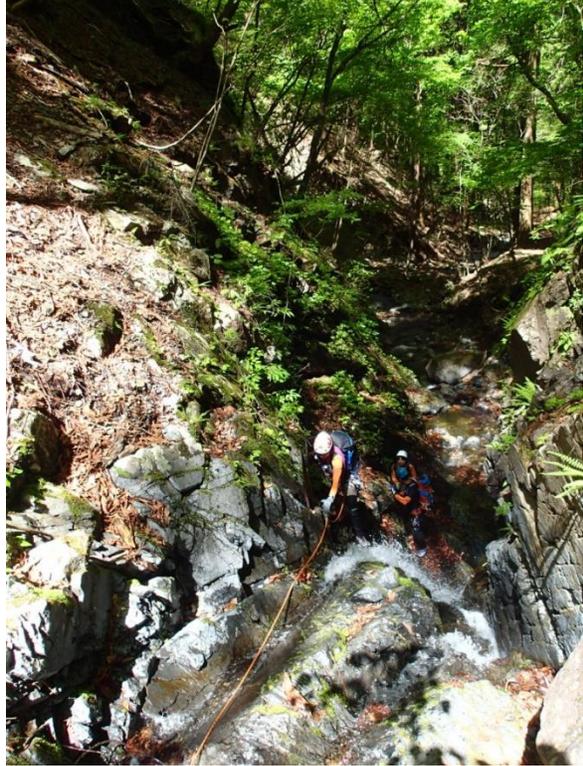
前週、ヒノキガタア沢を登っているとき「日光南部」の地形図を見ていて、鳴虫山の素麺滝という記述に目が留まり、半日程度で手頃そうだしちょっとトレーニングがてら突発的に企画してみた。

今年こそは女子と沢登りをしよう！と今回はいつものメンバーに荒井さんが同行してくれました。

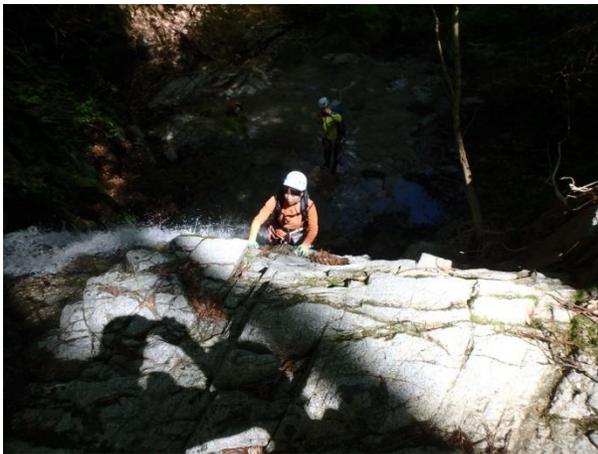
近場の手頃な沢歩きということもあり朝はのんびり出発、基点の憾満ヶ淵は大谷川の小溪谷とも呼べる場所で近くの日光東照宮付近の喧騒とは無縁の雰囲気がいい。

化け地蔵の前を流れる大谷川は小規模ながら激流に磨かれた岩盤が美しく、上流に数多くの名瀑を連想させる。渡渉訓練にも良さそうだな・・・なんて思いつつ、ここは残念ながら観光地の目の前、化け地蔵を数えていたらという口実で入溪点を行き過ぎてタイムロス。。





素麺滝は田母沢御用邸（行ったことないけど）の裏庭のようで箱庭感があり雰囲気はいい、距離が短いだけに遡行内容が乏しい部分は否めないが、新緑とツツジが見頃で時期としてはいちばんいい季節に訪れた。餅洗滝でフォローにロープを出した。（写真・右上）



今日は時間にも十分余裕があったので山頂でみんなでラーメンでも食べようと持って来たが、ツツジを見に来たハイカーが予想以上にたくさんいて我々は場違い感満載でアウェーの洗礼を浴びてしまい、そそくさに下山することになった。。

この日はみんなおそろのウエアでチーム・ファイントラック・オレンジ軍団となり、すれ違う登山者に「調査の人?」、「どこかのチーム?」とか、質問攻めにあい説明するのが面倒だった。。



鳴虫山山頂から新緑とツツジに彩る女峰山

下山後は翠園に縦走するのが日光のクラシック・ルートだが、のんびりするつもりが早く下山してしまい結局パロットへ。

帰りのレジで唐揚げのお土産をたくさん買っている人がいて、店員に美味しいの?と聞いたらドヤ顔で自信たっぷりの対応をされた。どうやら唐揚げも自慢らしい、、次はお土産で家で一杯やることにしよう。。またすぐ行かねば!